

D V 加害者プログラム 受講者募集



D V 加害をやめたい男性のためのプログラムです。
男性の視点からD Vについて考えてみませんか？

内容

オンライン（ZOOM）による少人数のグループワーク

【ポイント】

- ① D V 支配の多様なあり方を知る
- ② 社会や自分の中にある暴力容認意識やジェンダーの縛りなどD Vにつながる「ゆがんだ考え方」について学ぶ
- ③ パートナーや子どもとのD Vや虐待ではない良い関係について学ぶ
- ④ 自分の過去や、感情とも向き合いながら、これからの自分をイメージする

※事前に、対面により、個人面接（2回）、パートナーの方との個人面接（1回）を実施いたします。

日程

2022年10月～2023年1月（全16回）
各回 10：00～12：00
詳細は裏面のとおりに

対象者

- ① 大阪市内に在住・在勤・在学の男性
- ② D V 行動をやめたい、D V を真摯に反省し変わりたい、パートナーとD V ではない良い関係を築きたいという方
- ③ 全16回のプログラムに参加可能な方

受講料

5,000円（全16回分）
※一部参加できなかった場合でも受講料の返金はできません。

申込方法

メールでお申込ください。

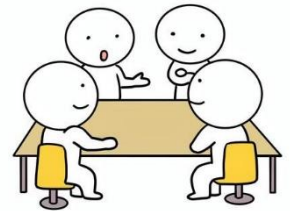
件名：D V 加害者プログラム参加希望

本文：氏名・連絡先（電話番号）

送信先：NOVO「非暴力ルーム・大阪」

アドレス：novo_osaka@yahoo.co.jp

※プログラム申込の受付締切は9月末を予定しています。
申込状況により早まる可能性があります。



注意事項

- ① 本プログラムは、内閣府の調査研究事業の一環として、大阪市が市内の民間団体（NOVO）と連携して実施するものです。
- ② 受講者には、アンケート調査等への協力をお願いします。また、受講の様子を見学をさせていただくことがあります。（個人が特定されるようなことはありません。）
- ③ 面接の内容や申込状況によって、ご参加いただけない場合があります。
- ④ 被害者支援を目的としていますので、必要な場合はパートナーと連絡を取ることがあります。

問合せ先

大阪市市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課
06-6208-7656

プログラム内容・日程



第1回 10月1日 (土)	力による支配 (威圧を例に価値観や思い込みに気づく・DVや暴力に関する基本的理解)	第9回 11月27日 (日)	子どもを使う暴力 (ケーススタディを通じて学ぶ)
第2回 10月9日 (日)	特権意識 (家事育児などを例に、特権意識に気づいて捨てる)	第10回 12月3日 (土)	率直な話し方 (ロールプレイを通して対等で気持ちのいい自己主張を学ぶ)
第3回 10月15日 (土)	ジェンダーによる支配① (ジェンダーのしぼりに気づき、DVとの関連を考える)	第11回 12月11日 (日)	ジェンダーによる支配② (DVのもととなる考え方について)
第4回 10月22日 (土)	DVによるパートナーや子どもへのダメージ① (DVは子どもへの虐待にあたることを理解する)	第12回 12月17日 (土)	相手に対する尊重と共感 (親密な関係とは)
第5回 10月30日 (日)	育った家庭での「力と支配」 (自身の過去と暴力について考える)	第13回 12月25日 (日)	DVによるパートナーや子どもへのダメージ② (自身のDVを振り返って考える)
第6回 11月5日 (土)	相手を尊重する関係とは (ケーススタディ・ロールプレイなどを通して学ぶ)	第14回 1月7日 (土)	安全のためのセルフコントロールプラン
第7回 11月13日 (日)	操るという暴力 (パートナーを心理的に操る行為とは)	第15回 1月14日 (土)	相手を理解しようとする聞き方 (ロールプレイを通じて学ぶ)
第8回 11月19日 (土)	DVが子どもに与える影響 (子どもを育むために何が出来るかを考える)	第16回 1月22日 (日)	学びのまとめ、自身の行為のふりかえり、これからの成長目標を設定する

※ 予備日 1月28日(土) 2月5日(日)

注：プログラム内容・順番は変更することがあります。

共催：内閣府 男女共同参画局 男女間暴力対策課
 大阪市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課

